

ブラジル金融政策と大統領選挙の動向(2018年9月) ～社会保障改革に前向きな大統領が選出されるかに注目～

2018年9月21日

お伝えしたいポイント

- ・ ブラジル中央銀行は政策金利の据え置きを継続
- ・ 大統領選挙をめぐる不透明感でブラジル・レアルは軟調
- ・ ボウソナロ氏とアダジ氏による決選投票の可能性が高まる
- ・ 社会保障改革に前向きな大統領が選出されるかに注目

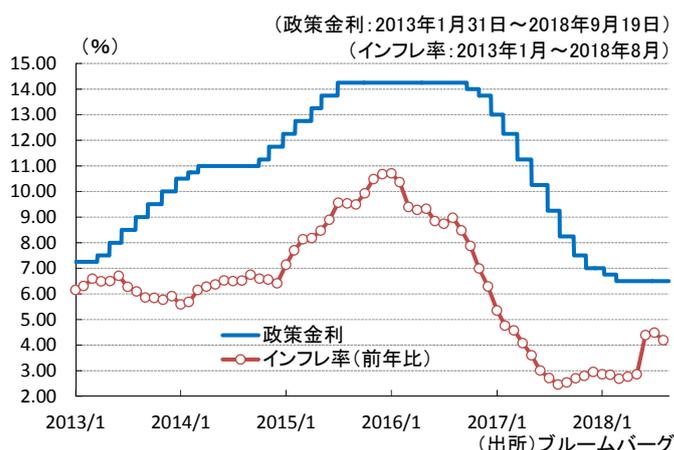
<ブラジル中央銀行は政策金利の据え置きを継続>

ブラジル中央銀行は、9月19日(現地、以下同様)、政策金利を全会一致で6.5%に据え置きました。市場では、大半が政策金利の据え置きを予想していました。

足元のインフレ率は中央銀行の目標範囲(4.5%±1.5%)内で推移しており、インフレ期待が高まっていないことから、中央銀行は景気回復を支援するために政策金利の据え置きを判断したとみられます。

中央銀行は今後の金融政策について、インフレ期待が高まれば、徐々に金融緩和を縮小するとしました。インフレ期待が高まるリスク要因としては、構造改革が頓挫するリスクなどが挙げられました。

《政策金利とインフレ率の推移》



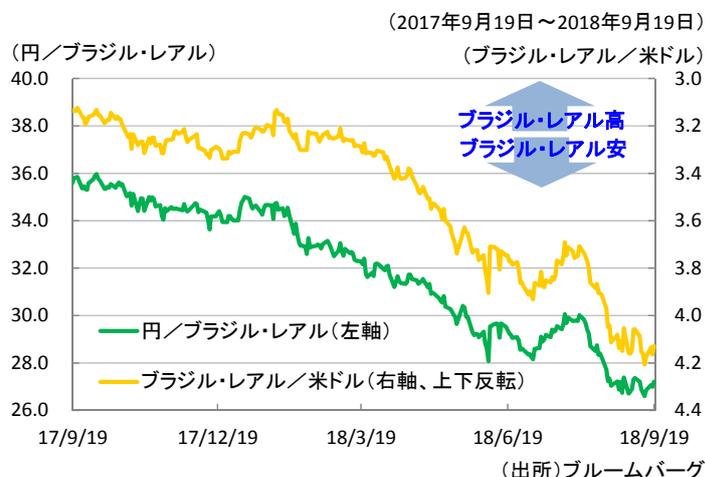
<大統領選挙をめぐる不透明感でブラジル・レアルは軟調>

政策金利の据え置きは市場の予想通りだったこともあり、発表後の市場の反応は限定的でした。

足元のブラジル・レアルは、8月のトルコ・リラの急落に端を発した新興国通貨不安などに加え、10月に控えているブラジル大統領選挙をめぐる不透明感が重しとなり、軟調な推移となっています。

大統領選挙が近づくにつれ、選挙戦が本格化していますが、依然選挙結果を見通しにくい状況が続いています。そのため、ブラジル・レアルは各種世論調査の結果に左右される展開となっています。

《ブラジル・レアルの推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ポウソナロ氏とアダジ氏による決選投票の可能性が高まる>

10月の大統領選挙は依然として混戦模様ではあるものの、直近の世論調査では、右派のポウソナロ氏と左派のアダジ氏の支持率が高まっています。ポウソナロ氏は、以前から世論調査でトップだったことに加え、9月6日に同氏が選挙運動中に刺され重傷を負ったことで同氏への注目が高まり、さらに支持が高まっている模様です。他方、アダジ氏は、高い支持率を得ながらも有罪判決によって出馬が認められなかったルラ元大統領の代替として出馬しており、ルラ元大統領の支持票を集めつつあるとみられます。

ブラジルの大統領選挙では、第1回投票で過半数を獲得した候補者がいなかった場合、上位2名による決選投票が行われます。世論調査通りになれば、ポウソナロ氏とアダジ氏による決選投票が行われることとなります。支持率では今のところポウソナロ氏がアダジ氏を上回っていますが、ポウソナロ氏は過激な発言で知られるため不支持率も高く、刺傷事件による健康状態も懸念されます。また、第1回投票で敗れた候補者の支持票の動きも不透明であることから、選挙結果は見通しにくい状況が続いています。

《選挙に関連する出来事》

日程	出来事
8月31日	テレビ・ラジオキャンペーン開始
9月6日	最高裁判所がルラ氏の出馬を却下
9月6日	ポウソナロ氏の刺傷事件発生
10月7日	第1回投票
10月12日	決選投票に向けてのテレビ・ラジオキャンペーン開始
10月28日	決戦投票(第2回投票)

(出所) 各種資料より大和投資信託作成

<社会保障改革に前向きな大統領が選出されるかに注目>

市場の関心は、大統領選挙の動向に集中しています。その理由は、大統領選挙によって、現職のテメル大統領が進めてきた社会保障改革などの財政再建に向けた構造改革が継続されるかどうか明らかになるためです。インフレと通貨の安定のためには、財政再建を通じたブラジルへの信認改善が必要であるため、現政権の構造改革を市場は肯定的に評価してきました。

主要候補者の中では、アルキミン氏が最も市場寄りとして評価され、ポウソナロ氏の経済政策も評価を得ています。他方で、アダジ氏ら左派候補はバラマキ的な政策を行うのではないかと市場では警戒されています。

ブラジル・リアルは今後も、大統領選挙に関するニュースや世論調査の結果に左右される展開が続くと見込まれますが、当社では、社会保障改革に前向きな大統領が選出されるかどうか注目しています。

以上

《主要候補者の政策スタンス》

	ポウソナロ	アダジ(※)	ゴメス	アルキミン	シルバ
スタンス/政党	右派/PSL	左派/PT	左派/PDT	中道右派/PSDB	中道左派/REDE
社会保障改革	前向き	後ろ向き	後ろ向き	前向き	前向き
歳出上限	維持	廃止	廃止	維持	一部修正
労働改革	維持	廃止	修正	維持	修正

※アダジ氏の政策へのスタンスはルラ氏のものを表示しています。

(出所) 各種資料より大和投資信託作成

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・ブラジル金融政策(2018年8月)～市場予想通り政策金利を据え置き～(2018/8/2)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180802_1.html
- ・ブラジル金融政策(2018年6月)～政策金利は据え置き。今後の利上げ余地を残す～(2018/6/21)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180621_1.html
- ・ブラジル株式市場の見通し～内憂外患も、不透明要因が和らげば反発を見込む～(2018/6/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180608_1.html
- ・新興国からの資金流出懸念などでブラジル・レアルは下落(2018/5/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180525_2.html
- ・ブラジル金融政策(2018年5月)～市場予想に反して政策金利を据え置き～(2018/5/17)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180517_1.html
- ・ブラジル金融政策(2018年3月)～0.25%ポイントの利下げを行い、追加緩和を示唆～(2018/3/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180322_2.html
- ・ブラジル金融政策(2018年2月)～0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆～(2018/2/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180208_1.html
- ・ルラ元ブラジル大統領への有罪判決で年金改革への期待感が継続(2018/1/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180125_2.html
- ・ブラジルの格下げについて(2018年1月)(2018/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180112_1.html
- ・ブラジル出張報告②(経済・社会の「今」)～経済、金融市場の安定を保つ上でも構造改革の進展は重要～(2018/1/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180105_1.html
- ・ブラジル出張報告①(政治の「今」)～年金改革および大統領選挙の行方～(2017/12/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171226_1.html

◇動画

- ・2018年ブラジル経済見通し～底堅い経済成長を期待～(2018/2/1)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov96.html>

◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>